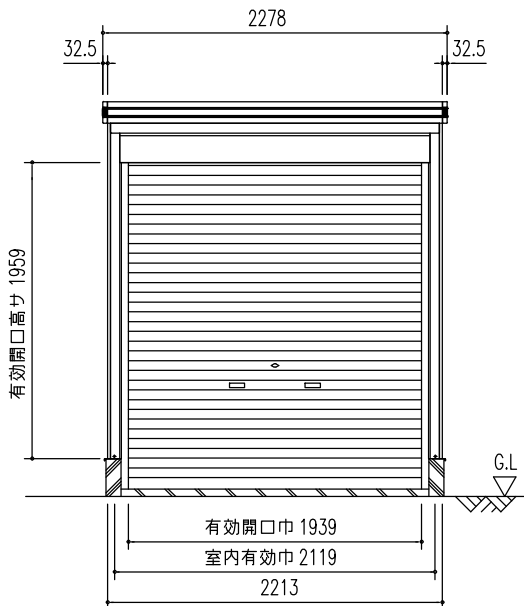
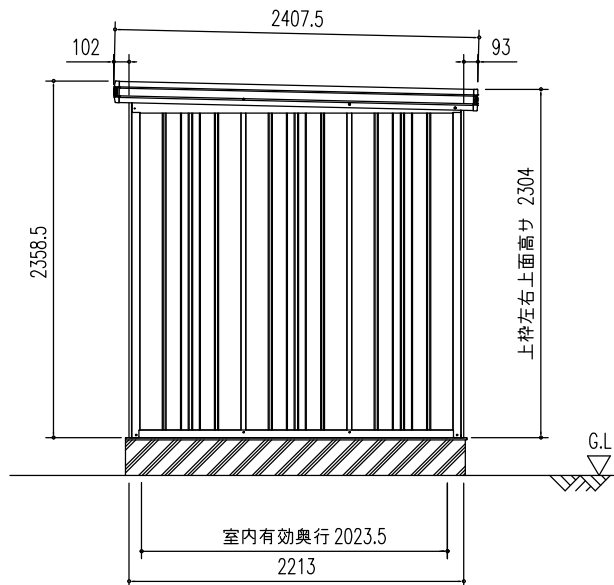
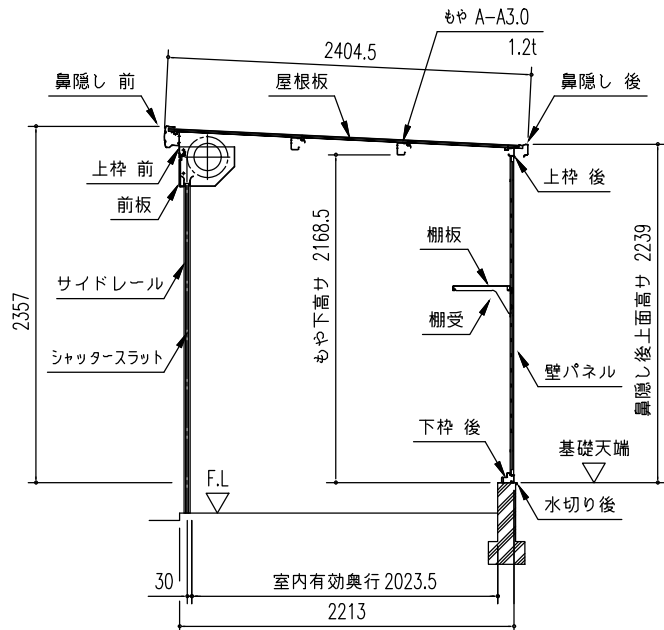




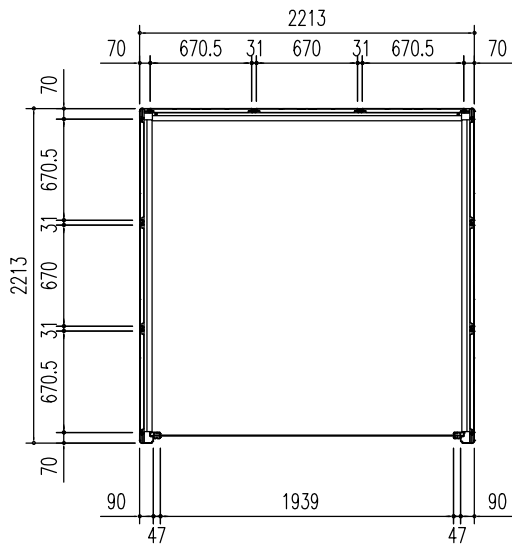
正面立面図 (S=1/50)



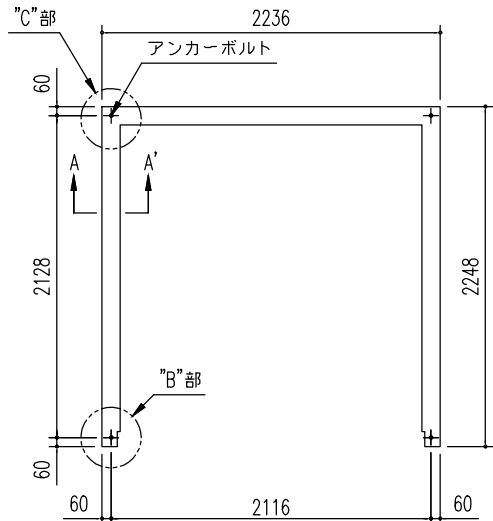
側面立面図 (S=1/50)



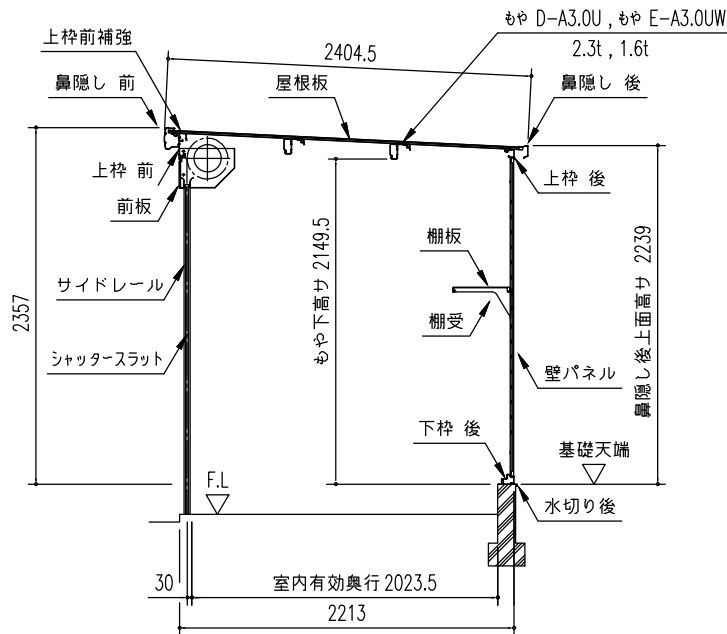
一般型矩計図 (S=1/50)



平面図 (S=1/50)



布基礎伏図 (S=1/50)



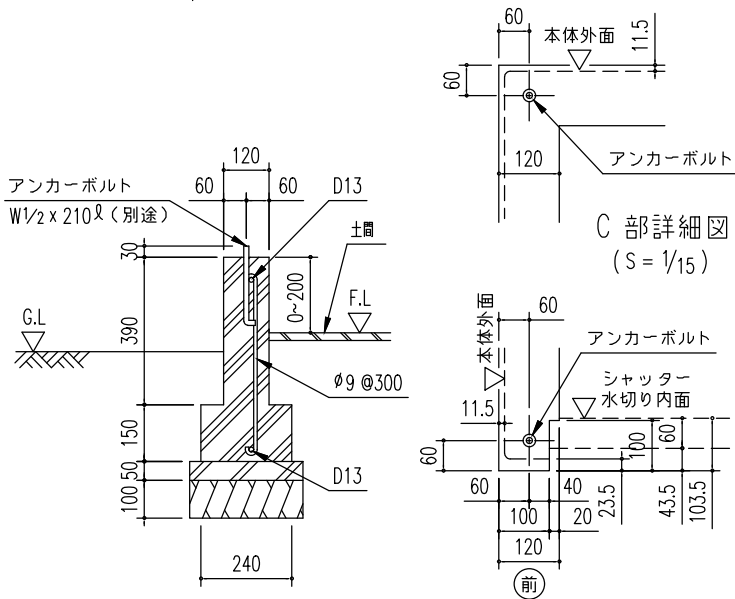
豪雪型矩計図 (S=1/50)

部 材 名	厚さ(㎜)	材 質
屋 根 板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<一般型> もや A-A3.0	1.2	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<豪雪型> もや D-A3.0U	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<豪雪型> もや E-A3.0UW	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
下 枠 側・後	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 前(後)	1.0<0.8>	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上枠前補強(豪雪型のみ)	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 左,右	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC(ケトンカラー)
鼻 隠 し 前	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC(ケトンカラー)
鼻 隠 し 後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
前 板	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッター水切り	—	アルミニウム合金押出型材
壁 パ ネ ル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間 柱 後	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<一般型> 間 柱 側	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<豪雪型> 間 柱 側	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC

部 材 名	サイズ(巾×高さ)
壁パネル H-A	670 × 2110
壁パネル H-F	319.5 × 2110

< 参考 >

基礎は建設省告示第1347号に準じて設定しておりますが、
下記条件での参考図であり、現地の実情にあわせて設計して下さい。
(地耐力50kN/m²以上,コンクリート設計基準強度18N/mm²以上)
(基準風速 34 m/s, 地表面粗度区分 Ⅲ)



A ~ A' 断面
布基礎断面図例 (S=1/20)

B 部詳細図
(S=1/15)

- 注1) 地耐力が50kN/m²未満(30kN/m²以上)の場合、底盤幅を300mmとし、かつ補強筋を入れて下さい。
注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。
注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。
注4) 土間仕上げ(F.L.)は、参考例です。
注5) 有効高さは、基礎高さを含みません。

名 称	ヨド物置 エルモシャッター <単棟型>
機種名	LOD(U) -2222HD型 <1/1>

株式会社 ヨドコウ